

東洋環境分析センター

水道事業実務者セミナー

民間委託の手法学ぶ

講師の話に熱心に耳を傾ける受講者。鹿児島市のかごしま環境未来館で



託に関する今後の方向性などについて認識を深めた。

同社主催のセミナーは、今年で8回目。講演では、(株)東洋設計の池田晴秋氏が「水道事業の民間委託」、神戸大学大学院の木村憲司氏が「危機管理マニュアルの策定」についてそれぞれ講話したほか、

間の実務担当者57人は、(株)東洋環境分析センター微生物検査グループの木

田千登世氏が「塩素消毒と細菌の挙動」で研究発表した。

池田氏は事業の民間委託について、昨今の自治体が直面する厳しい財政

状況や技術職員数の減少を挙げ、「将来的に官民一体となったパートナーシップの構築が必要」と言及。その上で、PFI導入や第三者業務委託、

指定管理者制度などについて持論を展開した。受講者はメモを取るなど、講師の話に熱心に耳を傾けていた。

同社営業部の浅野兼介

統括課長は「現場で起こるさまざまな課題の解決策に役立てばうれしい。今後、社会貢献を念頭に置いた活動に努めたい」と話した。

(株)東洋環境分析センター(藤井勝己社長)は29日、鹿児島市のかごしま環境未来館で21年度水道事業実務者セミナーを開いた。受講した行政、民